

# 富山県歯科口腔保健対策の現状 及び令和 8 年度 of 取組みについて

富山県厚生部健康対策室健康課  
富山県口腔保健支援センター

# 富山県歯科口腔保健対策の現状

## 1 歯・口腔に関する健康格差の縮小

### 【現状と課題】

- むし歯のない子どもが増加している一方、むし歯を多数もつ子どもがみられる
- 生活環境、社会環境、身体的状況等が歯と口腔に関する健康格差に影響することが指摘されているため、多様な関係者と連携した対応が必要

### 【主な施策】

- むし歯予防パーフェクト作戦事業  
市町村と連携し、以下の予防事業を実施
  - ・乳歯むし歯予防事業
  - ・保育所・幼稚園永久歯むし歯予防事業
  - ・小中学校永久歯むし歯予防事業
  - ・妊婦歯科健診事業
- フッ化物洗口導入促進事業  
むし歯予防効果の高いフッ化物洗口について、新たな施設で導入する市町村への補助
- 歯科保健関係者研修  
保育士、幼稚園教諭、養護教諭、市町村歯科保健担当職員に向けた研修会の実施

指標(富山県)	計画策定時		計画 目標値
	県	全国	
3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合	2.4% (R3)	3.0% (R3)	0%
12歳児でむし歯のない者の増加	76.7% (R3)	71.7% (R3)	90%
40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合	18.7% (R3)	22.7% (H28)	5%

# 富山県歯科口腔保健対策の現状

## 2 歯科疾患の予防【乳幼児・学齢期】

### 【現状と課題】

- 乳幼児・学齢期におけるむし歯は減少もフッ化物洗口の実施施設は市町村間で格差
- 生涯を通じた歯と口の健康のため、永久歯のむし歯予防をさらなる推進する必要

### 【主な施策】

- 若年層の歯周病予防普及啓発(歯ぐきキュット作戦)事業  
中学生向けに歯周病に関する歯科保健事業を実施する市町村に対する補助
- むし歯予防パーフェクト作戦事業(再掲)  
小中学校永久歯むし歯予防事業
- フッ化物洗口導入促進事業(再掲)  
むし歯予防効果の高いフッ化物洗口について、新たな施設で導入する市町村への補助

指標(富山県)	計画策定時				計画 目標値
	県		全国		
3歳児でむし歯のない者の割合	90.6%	(R3)	89.8%	(R3)	95%
12歳児でむし歯のない者の割合	76.7%	(R3)	71.7%	(R3)	90%
17歳でむし歯のない者の割合	59.3%	(R3)	55.5%	(R3)	80%
中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合	15.0%	(R3)	-		10%
フッ化物洗口を実施している学校・施設の割合	33.5%	(R4)	-		50%

# 富山県歯科口腔保健対策の現状

## 2 歯科疾患の予防【成人・高齢期】

### 【現状と課題】

- 成人・高齢期における進行した歯周炎を有する者は増加傾向であり、全国と比べて高い
- 歯周病の進行は歯の喪失につながるため、口腔機能の維持からも歯周病対策が重要
- 歯科健診・歯科保健指導による早期受診の促進等の重症化予防の取組み推進が必要

### 【主な施策】

- (新)歯と口腔の健康づくり普及啓発事業
  - ①「歯と口腔の健康づくり週間」におけるイベント開催
  - ②歯科保健情報を集約したホームページの作成及びSNS広告を活用した普及啓発

### 【現状と課題】

- 歯周病有病率は高く推移しており、ライフステージの早期からの歯周病予防対策が重要
- 歯科健診・歯科保健指導による早期受診の促進等の重症化予防の取組み推進が必要

指標(富山県)	計画策定時				計画 目標値
	県		全国		
20歳以上における未処置歯を有する者の割合(年齢調整値)	43.0%	(R3)	33.6%	(H28)	30%
20～30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	66.3%	(R3)	24.5%	(H30)	50%
40歳以上における歯周炎を有する者の割合(年齢調整値)	72.3%	(R3)	56.2%	(H28)	50%
60歳以上における未処置の根面むし歯を有する者の割合(年齢調整値)	6.0%	(R6)	-		5%
糖尿病と歯周病の関係を知っている者の割合	-		-		50%
喫煙と歯周病の関係を知っている者の割合	39.3%	(R3)	-		50%
過去1年間に歯科健診や専門家による口腔ケアを受診した者の割合	53.5%	(R3)	52.9%	(H28)	80%

# 富山県歯科口腔保健対策の現状

## 3 口腔機能の獲得・維持・向上

### 【現状と課題】

- 8020達成者は増加に転じたが、全国と比べて低い状況
- 健康で質の高い生活を営む上で口腔機能は重要な役割を果たしていることから、口腔機能の重要性の普及啓発や口腔機能低下防止の取組みの推進が必要

### 【主な事業】

- (新)歯と口腔の健康づくり普及啓発事業(再掲)  
歯と口の健康づくりに対する県民一人ひとりの関心を高め、その実践を促進するため、普及啓発を実施
- 口腔機能等行動変容促進事業  
市町村の介護予防事業や高齢者施設、歯科衛生士会等の関係団体等が実施するオーラルフレイル予防対策の取組みを支援
- 在宅歯科医療研修事業  
要介護者等の口腔機能(摂食、咀嚼、嚥下等)の低下等に対応できる歯科専門職の育成

指標(富山県)	計画策定時		計画 目標値
	県	全国	
40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合(年齢調整値)	18.7% (R3)	22.7% (H27)	5%
60歳(55～64歳)で24本以上の自分の歯を有する者の割合	72.7% (R3)	74.4% (H28)	90%
80歳(75～84歳)で20本以上の自分の歯を有する者の割合	46.6% (R3)	51.2% (H28)	60%
50歳以上における咀嚼良好者の割合(年齢調整値)	76.0% (R3)	70.9% (R1)	80%
オーラルフレイルを知っている者の割合	-	-	50%

# 富山県歯科口腔保健対策の現状

## 4 要介護者、障害者・障害児等への歯科口腔保健の推進

### 【現状と課題】

- 障害者・障害児入所施設、介護保険施設での定期的な歯科健診実施率は減少傾向
- 在宅療養支援歯科診療所数は増加
- 口腔ケアや在宅歯科医療を提供するための体制整備推進が必要

### 【主な事業】

- 在宅歯科医療研修事業(再掲)
- 歯科保健医療サービス提供困難者への技術者養成事業  
障害者等の状態に応じた対応ができる技術を有した歯科専門職を育成するため障害者施設での実習を実施
- 歯科保健医療サービス提供困難者への歯科保健医療推進事業  
介護保険施設等に歯科衛生士等を派遣し、施設入所者等への指導などを実施
- 口腔ケア普及啓発事業  
要介護状態の方への口腔ケア推進のため、ケアマネジャー等の支援者への研修を実施

指標(富山県)	計画策定時		計画 目標値
	県	全国	
障害者・障害児入所施設での過去1年間の歯科健診実施率	66.7% (R4)	77.9% (R1)	90%
要介護高齢者入所施設での過去1年間の歯科健診実施率	26.1% (R4)	74.4% (R1)	50%
在宅療養支援歯科診療所数(人口10万人対)	5.4 (R4)	6.8% (R4)	増加

# 富山県歯科口腔保健対策の現状

## 5 歯科口腔保健を支える環境の整備

### 【県民の機運醸成】

- (新)歯と口腔の健康づくり普及啓発事業

### 【歯科専門職等への技術研修】

- 歯科保健関係者研修(再掲)
- 歯科専門職研修(再掲)  
歯科医師等に対する技術研修
- 歯科衛生士等臨床定着支援事業  
歯科衛生士、歯科技工士を対象とした最新の技術研修

### 【歯科口腔保健を推進する体制整備】

- 富山県口腔保健支援センターの設置  
県厚生部健康対策室健康課内設置し、県内の口腔保健対策を推進
- 歯科保健医療対策会議及び歯科口腔保健推進検討部会  
県民歯と口の健康プラン(第2次)の推進について検討

## 6 災害発生時の歯科保健医療対策

- 歯科医師会との災害発生時の協力協定の締結(H26年12月)
- 災害時歯科医療救護対応マニュアルの策定